

令和5年度 第2回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年 3月29日(金) 午前10時16分開会

2 場 所 築上町役場本庁 議会委員会室

3 出席者

(構成員) 築上町長 新川 久三
教育委員会
委 員 麥田 猛美
委 員 折本 美佐子
委 員 小林 正尚
委 員 鱒淵 尚徳
教育長 久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

椎野総務課長、鍛冶学校教育課長、尾座本生涯学習課長、
樽本教育施設整備室長、岡部学校教育係長、
岡部社会教育係長、野村スポーツ振興係長、藤江教育施設整備係長、
宮内指導主事、榎指導主事、寺門指導主事

(傍聴者) 2 名

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

午前10時16分開会

(1) 開 会

○学校教育課長(鍛冶 孝広君) 皆さん、おはようございます。

定刻を少し過ぎましたが、お揃いになりましたので、只今から令和5年度 第2回築上町総合教育会議を開会いたします。

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず、町長挨拶でございます。新川町長、お願いいたします。

(2) 町長あいさつ

○町長(新川 久三君) おはようございます。今日は、令和5年度の最後の日ということになりましたけれど、今まで皆さん学校再編の件で苦勞したと思いますけれど、目鼻が立ってきたようでございますし、そして、八津田小学校も非常に良い落成式であったと思います。そういう形の中で、子どもたちの教育というのはやはり築上町長として、私は重要視していかなきゃならん政策だと思っております。そここのところでやっぱり、子どもたちに良い学習環境になることを望んでいるけど、なかなかそうはいかないという状況もあるようでございますけれども、それはそれで地域と話し合いをしながら、良い環境づくりをしていきたいと、そのように考えておりますので、皆さんとともにいろいろ話をしながら、前に進めていきたいと思っております。

それでは、最後日ということで、今日はまとめの総合教育会議と思っておりますけど、よろしく願いします。

○学校教育課長(鍛冶 孝広君) ありがとうございます。それでは、報告事項からは、町長のほうで進行をお願いいたします。

(3) 報告事項

築上町立小中学校再編統合について

○町長(新川 久三君) 報告事項に入りまして、築上町立小中学校再編統合についてを議題いたします。

担当の学校教育課のほうから、説明をお願いしたいと思います。

○学校教育課長(鍛冶 孝広君) 学校教育課、鍛冶でございます。それでは、築上町立小中学校再編統合について報告をさせていただきます。

本日、お手元に「築上町立小中学校再編統合実施計画(案)」をお配りさせていただいておりますが、実施計画(案)の説明の前に、まず経緯について少し報告をさせていただきます。

築上町の小中学校の再編統合につきましては、著しい少子化による児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化、また情報化の加速度的な進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、教育委員会では、築上町の小中学校の子どもたちの学習環境をどう整備していくか、また、お手元の資料の表紙のサブタイトルにもございますが、少子化に対応した活力ある学校づくりのためということで、令和4年度に「築上町立小中学校適正配置基本計画」を策定したところでございます。

その後、保護者アンケート、小学校区での説明会、また昨年11月からは適正配置基本計画検討会議を設置いたしまして、小学校区の保護者、学校関係者、自治会長等から適正配置基本計画

に対する様々な御意見をいただいたところでございます。

検討会議につきましては、教育委員さんをはじめ町長にも御出席いただいたということでございます。

2月26日に開催されました第2回の適正配置基本計画検討会議、全体会議で頂いた各学校からの最終的な御意見を踏まえ、教育委員会会議の中で、適正配置基本計画の見直しについて御協議を頂いたところでございます。

教育委員会2月定例会、3月臨時会と協議を重ねていただきまして、一昨日、27日に開催されました3月定例会で、本日、お手元に配付をさせていただいている再編統合実施計画（案）を御承認頂いたところでございます。

それでは、まず表紙を御覧頂きたいと思います。計画のタイトルでございますが、今回、計画の見直しを行うことで、これまで教育委員会としてお示しをしてきた小中学校の適正配置と最終的に異なるということもございまして、計画のタイトルを再編統合実施計画（案）としたところでございます。

それでは、1ページをお願いいたします。

初めにとということで、今申し上げましたこれまでの経緯と見直しに当たっての経緯をまとめて、そこに記載をさせていただいております。

それでは、次のページ、2ページをお開きください。

2の学校再編統合についてということで、これまで頂いた御意見を踏まえ、今後の本町における小中学校の再編統合について、中学校区別に記載をしております。

まず、椎田中学校区の四角囲みでございますが、①として、令和9年度に椎田小学校、葛城小学校、西角田小学校、小原小学校を1校に再編統合し、新校舎、椎田中学校敷地内に建設予定の新校舎でございますが、そこに移転をすることとします。再編統合した小学校と椎田中学校との施設一体型小中一貫校にすることとします。

また、②として、八津田小学校については現在地に存続し、施設分離型小中一貫校にすることとします。ということで、椎田中学校区につきましては、大きな見直しはしておりませんが、八津田小学校につきましては、令和14年度に小規模特任校として位置づけるという計画でございましたが、後ほど説明いたしますが、下城井学校、上城井小学校を、それぞれ現在地に存続させるということで、小規模特任校に位置づける必要性が無くなったことから、今回、その小規模特任校の位置づけを見直し、その表記を外しております。それから、その下段に各小学校区から頂いた御意見を記載をしております。

次に、築城中学校区の四角囲みでございますが、①令和14年度を目途に築城小学校を現築城中学校校舎に移転し、築城小学校と築城中学校の施設一体型小中一貫校にすることとします。②

下城井小学校、上城井小学校は現在地に存続し、施設分離型小中一貫校にすることとします。ということで、築城中学校校区でございますが、築城小学校については見直しは行っておりませんが、大きな変更点として、下城井小学校、上城井小学校については、これまで頂いた御意見を踏まえ、現在地に存続させるということにしております。また、その下段に各小学校区からいただいた御意見を記載しているところです。

次に、3ページ以降に、学校再編統合によって目指す教育ということで、項目別に記載をしております。

内容としては、(1)義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進ということで、①の施設一体型・施設分離型の小中一貫教育を推進し、学校間の連携を更に充実させていくということから、④まで4点ほど記載をしています。

(2)については、個別最適な学び、協働的な学びを実現する教育の推進ということで、再編統合をすることによって、一定規模の学校になること、一定規模の学級集団になることによって、個別最適な学び、協働的な学びを更に充実させていくという点について、2項目で記載をしているところでございます。

それから、次の4ページをお願いいたします。4ページには、(3)教育環境の向上ということで、①では、STEAM教育といった新しい教育内容に対応できる環境を目指すこと。②では、築上町の魅力に触れる教育、体験活動等の充実を図っていくということで記載をしております。

それから、4の今後の計画についてということで、まず(1)で再編統合後の地域とのつながりということで、統合後の児童生徒の豊かな成長を支えていく仕組みについて検討していくということで記載をしております。

それから、(2)学校跡地の活用についてということで、これについてはこれまでの説明会、或いは、検討会議の中で、跡地利用はどうするのかというような御質問をいただきました。その点について、記載のとおり、地域の皆様の御意見をいただきながら、町全体で今後検討していくということで記載をしております。

次の(3)児童への配慮ということで、統合後に子どもたちが戸惑うことがないように記載をしております取組を行いながら、統合時の子どもたちの不安や負担を軽減できるように配慮をしていくということで記載をしております。

それから、次の(4)再編統合に向けた推進体制等では、椎田中学校区には、仮称でございますが、再編統合準備委員会を設置し、記載をしております委員構成で、また、校名、校歌など記載の内容、それと、先ほどこれまで多くの方から御質問をいただいております廃校後の跡地利用についても、準備委員会の中に部会を立ち上げまして、協議をしていくという計画でございます。

また、築城中学校校区については、築城小学校の移転が令和14年度ということで少し先になりますが、築城小学校の移転に向け、保護者、地域住民、学校関係者と協議をしていくということとしています。

最後に、5ページでございます。(5)の通学路の安全確保ということで、再編統合による通学路の安全確保の問題、特に学校の位置が変更になることによって、遠距離通学になる児童も出てきます。児童の安全確保、通学の負担軽減の観点から、スクールバスの導入について検討するという旨を記載しているところでございます。

以上、駆け足の説明になりましたが、報告については以上です。

(4) 意見交換

○町長(新川 久三君) 今、町立小中学校再編統合実施計画(案)という形で、一応案で説明がございましたが、これについては、皆さんの今までの思いを事務局がまとめてくれたと、このように考えているところでございますし、この中身でまだちょっといろいろ付け加えたいとか、そういうことがあれば、御意見を言っていたいただきたいと思いますが、何かございますか。一応方針はこれでよろしゅうございますか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○町長(新川 久三君) 基本的には一応これでいいということですね。僕はちょっと今後の問題で、僕はずっと昔から10人未満になったときは、10人未満になったら統合の話をやっぱり進めていくべきだろうと思います。というのが、一つは教科が本当に専任制になったときに、教科が全部専任制になったほうが多分学力が上がるけれど、小規模で一人の先生が全てを教えるという形になれば、総括的な形で中身に入った指導というか、指導ができないんじゃないかなと思います。そこのところで、ちょっと子どもたちの学力の差がいたら困るかなというのは懸念しているんで、そういうのもやっぱり地域の皆さんに話をしながら、やはり統合というのを念頭に置きながら、やっぱり私はいったほうが良いんじゃないかなと思います。

世の中の流れで、そういう一つの小中一貫校、若しくは、義務教育学校という形で近隣も進んでいるし、世の中の流れも文科省がそういう方針を立てているので、基本的にはそうしないと教員の確保が非常に難しくなるんじゃないかなと私は懸念しているんで、これはちょっとこの中に入れられないけど念頭に置きながら、今後、教育委員会と、一応合意を持ちながらやっていったらどうかと思っていますけど、そこのところはいかがですか。

基本的には一応、築城のほうの上城井、下城井は現存、残すという形になってるし、あとはそこのところは自然的な形で成り行きを見る必要もございましょうし、10人未満という形になれば当然、積極的に私はやって良いんじゃないかなと思います。10人を下回らなければ、地域の皆さんが理解してもらわなきゃどうしようもならないという形になるので、存続という形も取っ

ていく形になるのかなと思うんですけど、そのところで地域の皆さんが、特に保護者がどう
いう考えを持っているかという形で、これが大事になろうと思うんです。通学する子どもたちの
保護者がどういう考え方を持っているかという形の中で、それをやっぱり最重要視していくべき
じゃなかろうかなと考えているところがございますし、それが皆さんに理解できれば、統合の話
も、当然早くなってくる形になるかも分かりませんが、一応今後、推移をそのままちょっと見
守りながら、教育委員会と町長部局という形で話をしていこうかなと思っていますので、その
ところ協力をお願いします。教育長から何かあればお願いします。。

○教育長（久保ひろみ君） 教育委員会、久保です。

今、町長もおっしゃられましたけれども、今回、この再編統合実施計画（案）ということで、
適正配置基本計画を少し変更しながら計画をしておりますけれども、まさに今言われた学力差は
つけてはいけない、全ての学校でというところは念頭に置きながら、やはり今ICTを活用する
とか、そういうところで教育内容の充実、それから、小中一貫カリキュラムの実践というところ
で、教育委員会としては、そこはしっかりと行っていきたいというふうに考えております。ただ、
人口減少が今後どうなるかということは当然推移を見守りながら、当該の保護者、地域の方々と
しっかりと協議をしながら、その際は進めていかなければならないということは思っております
が、現在は、この案のとおり、現在地に残していくと、その中でどう教育活動を充実させてい
くかということが、今の教育委員会の課題ではないかなと私自身は認識をしているところです。
頑張っていかなければという気持ちでございます。

委員さんのほうも何かあればまた出していただければと思います。

○町長（新川 久三君） 何かないですか。いいですか。基本的にはそういう考え方でお願いした
いと思います。

それではこの議題はこれで終わって、一応この案を今後の計画ということで、これを進めて頂
きたいと思っておりますがいいですね。

（5）その他

○町長（新川 久三君） その他の項目について、学校の関係で何かありませんか。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） その他、事務局からは特にございません。委員の皆様から何か
あればと思いますが。

○町長（新川 久三君） 一つ部活などの関係、統合したとき小原小で神楽を教えているけど、多
分、小学校、神楽しているけど、それを部活の中に取り入れてはどうかと思って、そのところ
どうなるか。地域と連携した小原の神楽講で受け持ってもらうとか、そういう細かいことがやっ
ぱり今から計画をやりながら、開校までにはそれをどうするかということを考えて、あとはもう
とにかく一応、小原がそういう神楽があるということで。築城中学校区はそのまま残すからいい

わけよね。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 今の町長の御意見でございますが、計画の中にもお示しをしているとおり、（４）の今後の計画についてという中で、再編統合後の地域とのつながりということで、つながりを残していく仕組みを検討していくということにしております。併せて、仮称でございますが、再編統合の準備委員会、これを設置をしますので、その辺についても、準備委員会の中で十分に協議をしてもらいたいというふうに考えています。

○町長（新川 久三君） 分かりました。それでは、その他なければ、これで閉会にします。一年間御苦勞でございました。

午前10時43分閉会
